

# 「Book café —きつねの窓—」 (10時間扱い)

授業者 森 紗織

## 1. 国語科の目標・国語の見方・考え方・本単元の目標・育成を目指す資質・能力を踏まえた単元の評価規準

国語科の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。		
	言葉による見方・考え方		
	児童が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること。		
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
本単元の目標	読書会（Book café）を通じて、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりし、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができるようにする。		
	「きつねの窓」やその他の作品を読み、話し合う中で、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使おうとしている。(1-オ) 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付いている。(3-オ)	「きつねの窓」を読んで考えたことをブックレビューにまとめるために、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉え、人物像・物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしながら読んでいく。(Cイ・エ) 作品を読んで読書会で交流することを通して、まとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C・カ)	「きつねの窓」やその他の作品を読み、進んで読書会(Book café)で自分の思いや考えを伝え合おうとしている。
	評価1	評価2	評価3

## 2. 単元について

「きつねの窓」は、全編が「ぼく」の独り語りが進むファンタジー作品である。登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉え、「ぼく」の視点に自らを合わせて読むことができる題材である。

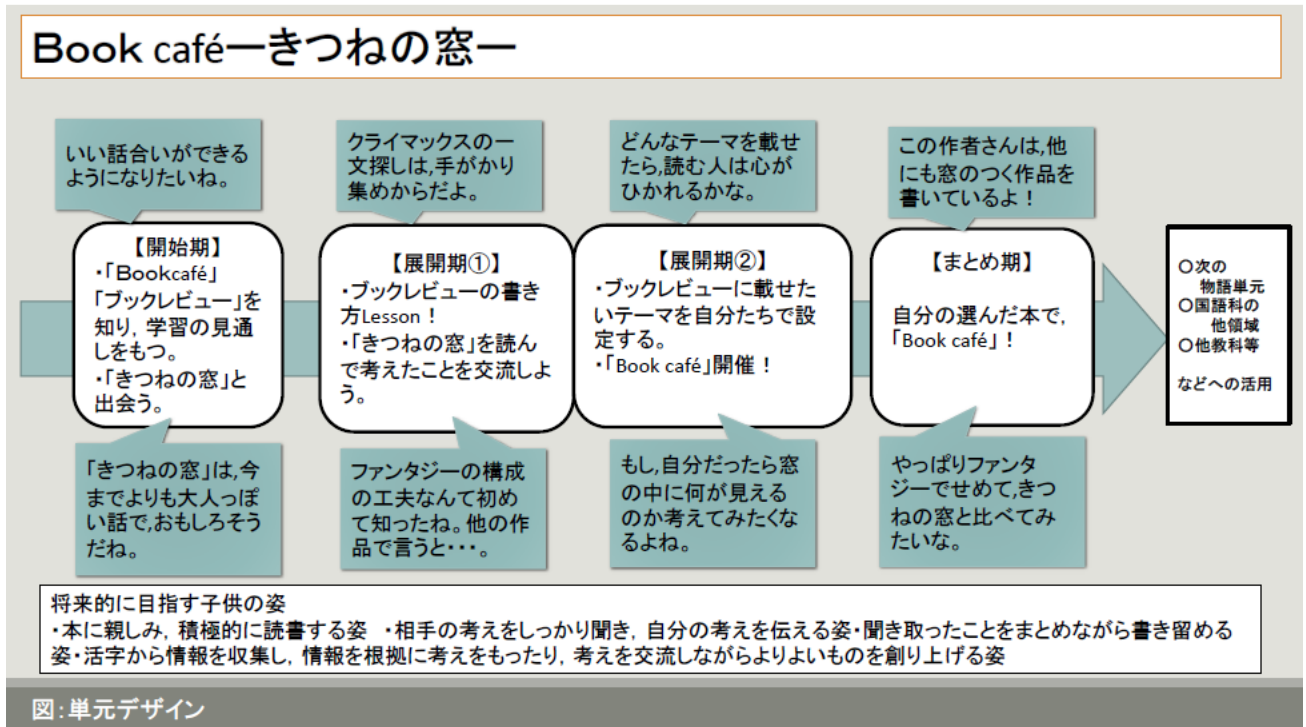
「ぼく」の人物像をより具体的に想像するためには、複数の叙述を結びつけ、総合的に判断していくことが必要となる。また、このことは場面の移り変わりを捉えることや物語の全体像を具体的に想像していくことにもつながる。そのためには一つ一つの叙述や暗示性の高い表現・作品展開に着目して注意深く読んでいくことが大切である。

そこで、作品を読んで内容を説明したり、読んで考えた事などを伝え合ったりする言語活動である

「Book café」を設定する。この言語活動の中で、作品に対する意見や感想をブックレビューとしてまとめたり、読み合ったりすることを何度も繰り返していく。この「Book café」を行うことにより、読書という個人的活動を複数で共有し、自分の考えを広げていくことができると考えた。

### 3. 研究との関わり

#### (1) 単元における、資質・能力の育成を支える「学びの文脈」



以下、下線は資質・能力とのつながり

#### (2) 「学びの文脈」を生み、つなげる具体的な手立て

##### 手立て① 単元のゴールとなる活動と学習の振り返りの工夫

子供が課題を解決していく見通しをもって学習活動に取り組むことができるよう、単元の開始期に単元の全体計画を考える時間を設定し、Book café やブックレビューについて理解を深め、具体的な目指す姿やゴールイメージを確認する。ゴールに行き着くまでの過程の一つ一つのめあてや身に付けたい力・取り組み方が明確になると同時に、振り返りの視点としても活用する。

また、子供が自らを学びの当事者であるという意識をもつことや、自らの学びのプロセス・学び方について自覚することを促すために、常に「自分の意見や感想を話し合い、考えを広げていく」というゴールを意識し、単元計画に基づいた毎時間の振り返りや単元のまとめ期に振り返りを行う機会を設定する。

これらの活動を通して、作品を読み、進んで自分の思いや考えを伝えようとすることにつなげたり、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付かせたい。

##### 手立て② 必要感のある対話的な学びを促す

国語で正確に理解し適切に表現する力は、子供が実際に人とのやりとりである対話を行ってこそ高まる。Book café で互いの立場や考えを尊重し、言語を通して正確に理解しようとしたり、ブックレビューに適切に表現しようとしたりする機会を数多く設定することにより、子供一人一人の言語活動を充実させていく。認識力や判断力が必要になる場面が繰り返されることにより、言葉を手掛かりとしながら論理的に思考する力や豊かに想像する力をより高めていきたい。そのことにより、描写を基に人物像・物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしながら読むことができるようになることにつながっていく。

単元の開始期で自分の学びであるブックレビューを完成させるためには、作品を読んで考えたことを交流し、考えを広げるために、発問や課題の解決の過程で多くの仲間の意見を聞きながら読み取っていくことが有効であることを確認する。小グループでの交流を行いながら、学びや考えの広がり全体で共有するために、全体で一つのテーマに向かって話し合ったりする活動も取り入れる。

(2) 「学びの文脈」を重視した単元計画

	学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
開始期 (1時間)	<p>○ 「Book café」やブックレビューと出会い、興味をもつとともに、どのように学習を進めているのか見通しをもつ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">                     自分の考えを話したりまとめたりってできたらかっこいいけど…。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">                     ブックレビューがあると、楽しくお話できそうだね。                 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">                     「きつねの窓」でブックレビューの書き方を練習してからなら、選んだ本でできそうだね。                 </div>	<p>☆ <u>学習の見通しをもつための「Book café」や「ブックレビュー」などの単元のゴールを意識できる活動との出会いを工夫する。</u> 【手立て①】</p> <p>☆ 既習の「話合いの仕方」について想起できるように、写真等を活用しながら単元を振り返る場を設定する。</p>
展開期 (2～12時間)	これも Book café ! 「きつねの窓」でブックレビュー Lesson 編 !	
	<p>○ ブックレビューLesson①「第一印象」 —作品の題名から受ける印象と読んでみて—</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">                     かわいい話かと思った らけっこう重いね。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">                     読んだ人は指で窓を創りたくなくと思う！                 </div> </div> <p>○ ブックレビューLesson②「登場人物の人物設定」 —設定や相互関係・描かれ方—</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">                     このきつねは天然？計算？どっちかなあ。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">                     あまり感じがよくない気がするね。                 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">                     孤独を忘れさせない残酷な復讐をしたね。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">                     人間の非力さとか愚かさとか残念な感じ。                 </div> </div>	<p>◇ 作品を読んで考えたことやその作品についての概要をブックレビューに表すために、作品中の登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉え、人物像・物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしながら読んでいる。 [評価2]</p> <p>☆ 自ら課題を解決することができるような読みの視点を提示する。</p> <p>◇ 優れた叙述をとらえその言葉が適切であるかどうかを考えたり感じとったりしながら読んでいる。 [評価3]</p> <p>◇ 話し合う中で、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使おうとしている。 [評価1]</p> <p>☆ 登場人物像・物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を意欲的に読み進めるために、物語の構成に着目することを促す。</p>
	<p>○ ブックレビューLesson③「一言でいうとこんなお話」 —作品のジャンルと構成—</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">                     ファンタジーだけど悲しいお話かな。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">                     入り口と出口って結局どこなんだっけ。                 </div> </div>	<p>◇ 「きつねの窓」を読み、進んで自分の思いや考えを伝え合おうとしている。 [評価3]</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <b>本時</b> </div> <p>○ ブックレビューLesson④「山場（クライマックス）」 —主人公の変化—</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">                     ぼくの気持ちって、どう変わったんだっけ。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">                     指を染めたから変わったと思うよ。                 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">                     子ぎつねの話聞いたからじゃないかな。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">                     仕事道具と引き替えにするって大事件だよ。                 </div> </div>	<p>☆ <u>意欲的・効果的に Book café を行いながらブックレビューを書き進められるよう、小グループによる交流など、交流の仕方を工夫する。</u> 【手立て②】</p> <p>☆ <u>交流を通して、考えたことや、考えが変わったことを実感することができるよう、個</u></p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>「きつねの窓」のベスト・ブックレビューを作り、交流する。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">組み合わせ方も順番も悩むなあ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">今まで評判がいいものの傾向は・・・。</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「きつねの窓」でブックレビューの書き方がわかったね。今度は、自分たちで選んだ作品でブックレビューを書いて話し合うのが楽しみだね。</div>	<p>人・グループで考える時間を保証したり、学習を振り返ったことをまとめる活動を設定する。 <b>【手立て③】</b></p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめ期 (2時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自で選んだ作品を読み、これまでの Lesson を生かしながらブックレビューにまとめる。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">「ごんぎつね」のクラ イマックスってどこ？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">安房さんの窓シリーズの共通点を探そう。</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>互いのブックレビューを交流しあう「Book café」を開く。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">ブックレビューを聞くと、その本が読みたくなるね。いい雰囲気ですせるのはうれしいね。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 各自が選んだ作品を読み、進んで自分の思いや考えを伝え合おうとしている。 <b>【評価3】</b></li> <li>◇ 読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること役立つことに気付いている。 <b>【評価1】</b></li> <li>☆ いろいろな考えに互いにふれることができるよう、交流の仕方を工夫するとともに、時間を十分に保障する。</li> </ul>

**ブックレビュー・フォーマット (必ず本文中からの引用を2つ以上入れること)**

ブックレビューLesson①「第一印象」—作品の題名から受ける印象と読んでみて—  
**「きつねの窓」という題名から**  
**実際に、読んでみて、**

ブックレビューLesson②「登場人物の人物設定」—設定や相互関係・描かれ方—  
**主人公の「ほく」は**  
**きつねは**  
**この2人の関係は**

ブックレビューLesson③「一言でいうとこんなお話」—作品のジャンルと構成—  
**不思議な世界への入り口は**  
**出口は**  
**なファンタジー。**

ブックレビューLesson④「山場(クライマックス)」—主人公の変化—  
**Before :**  
**After :**  
**そのきっかけとなったのは**

(3) 本時案 (5/8)

本時の目標 ・ 複数の叙述を結びつけ、総合的に判断しながら、僕の心情の変化やその背景について考えをまとめながら読むことができる。	
学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
<p>○ 前時に書いたブックレビューを読みながら単元の計画に基づいた振り返りを行い、本時の学習の見通しをもつ。</p> <p>ぼくは、銃も窓も失ったから、変化としては良くなさそう。</p> <p>動物の悲しみに気が付いたから、良い人になったと思うよ。</p> <p>結局残ったのは、さびしい癖だけだからね。</p> <p>ぼくの近くに笑ってくれる人ができたのは良い傾向だね。</p> <p>変化のきっかけになったのは、きつねの不思議な世界だよ。きつねにとっては、どうだったのかな。</p>	<p>☆ <u>必要感や必然性を感じながら、より自主的に課題に取り組めるよう、ゴールイメージを共有する。【手立て①】</u></p> <p>クライマックス 中心となる人物に大きな変化が起こる、物語のもっとも重要な所</p>
<p>ブックレビューLesson④ 主人公は、どう変化したのかについて Book café をしよう。</p>	
<p>○ きつねは何のためにこの世界を創ったのかについて話し合う。</p> <p>猟師の銃が欲しかったと思うよ。自分のような子を増やさないように集めているんだ。</p> <p>実はぼくにお母さんを撃たれたから、その復讐で精神的苦痛を効果的に与えたかった。</p> <p>自分と同じ孤独をもっている僕に、銃と引き替えに情を取り戻してあげたんだよ。</p> <p>純粋に寂しい同士のぼくにも、すてきな窓をプレゼントして励ましたかったのかも。</p> <p>この内容を、ブックレビューに入れたら、おもしろくなりそうだね。きっかけのところをくわしく書いてみよう。</p> <p>○ 今日の学びを、ブックレビューにまとめる。</p> <p>同じ寂しさを抱えている同士だときつねは知っていたから、酷いことはしないよ。</p> <p>かわいらしい話し方も、なめこもすべてきつねの作戦だとすると、After は暗くなるね。</p> <p>ぼくの辛い記憶を思い出させ、それも大切だと気付かせたから、いい変化だよ。</p> <p>このブックレビューを読むと、ホラーなファンタジーって感じがするよ。</p> <p>○ 学習を振り返り、次時への見通しをもつ。</p> <p>全てがきつねの策略と読めたら、これまでのレビューを書き直したくなってきたよ。</p> <p>この山場が物語の中でも重要だという意味が、改めてわかったね。</p> <p>次の時間は、ベスト・ブックレビューを書くけど、人物像をどうするかで、違いがでそうだよ。ベストに仕上げるためには、もう少し読んでおきたいね。</p>	<p>◇ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉え、人物像・物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしながらまとめている。</p> <p>評価2</p> <p>☆ <u>自分の立場を明確にして考えたり、より多くの考え方に触れ、自分の考えを広げたり、深めたりできるよう、流動的にメンバー構成を変えた交流場面を設定する。【手立て②】</u></p> <p>☆ 根拠を明確にして話し合うことができるよう、具体的に本文のどの部分から推測できるのか、指し示すよう促す。</p> <p>☆ <u>交流を通して、考えたことや、考えが変わったことを実感することができるよう、個人・グループで考える時間を保障したり、学習を振り返ったことをまとめる活動を設定する。【手立て①】</u></p> <p>☆ 次の学習への意欲を高め、見通しをもつことができるよう、考えを広げている様子を取り上げ、賞賛する。</p>